

平成22年3月29日

各位

上場会社名 株式会社 サンヨーハウジング名古屋
 代表者 代表取締役社長 宮崎 宗市
 (コード番号 8904)
 問合せ先責任者 取締役執行役員財務部長 杉浦 英二
 (TEL 052-859-0034)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年8月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,394	586	605	352	2,711.54
今回発表予想(B)	15,419	978	1,034	479	3,688.68
増減額(B-A)	△974	391	429	126	
増減率(%)	△5.9	66.7	70.9	36.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	16,548	645	641	326	2,883.88

平成22年8月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,025	442	489	283	2,186.06
今回発表予想(B)	12,135	845	922	527	4,060.05
増減額(B-A)	110	403	432	243	
増減率(%)	0.9	91.3	88.4	85.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	13,202	693	726	399	3,534.30

修正の理由

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の緊急経済対策の効果もあり、稼働率の上昇など一部に底打ちの兆しが見られるものの、経済活動の水準は依然として低く、デフレ進行、円高など、景気の先行きに対する不透明な状況が続いております。

当不動産業界におきましては、住宅版エコポイント制度などの公的な補助制度による住宅への関心の高まりは見られるものの、全国新設住宅着工戸数は前年同月比で14ヶ月連続で減少する等、厳しい事業環境が続いております。

こうした中で、当社は建築工事にかかる原価の低減、在庫の適正化、広告宣伝費をはじめとする販売費及び一般管理費の圧縮等に積極的に取り組み、業績の維持・確保に努めてまいりました。

平成22年8月期第2四半期累計期間個別業績予想におきましては、売上高は概ね計画通り推移しておりますが、原価の低減、販売費及び一般管理費の圧縮等の成果により利益率が改善し、上記の通り修正いたします。

平成22年8月期第2四半期連結累計期間連結業績予想におきましては、売上高が当初計画を若干下回る見込みとなりましたが、個別業績の利益が良好化したことを受け、業績予想を修正いたします。

なお通期の業績予想(連結・個別)につきましては、前回発表の業績予想から変更はありません。

※本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上